

# 日本一の 超高層ビルにも、 ダイキンの空調機。



設置機器: **ファンコイルユニット**  
(大型4方吹カセット形)  
設置場所: あべのハルカス近鉄本店



設置機器: **ビル用マルチVe-up**  
設置場所: ハルカス300(展望台)

業界をリードする、優れた省エネ性と施工性。

60F展望台フロアに、百貨店フロア、それぞれに最適なカタチで、快適な空間を叶えています。

地上300m日本一の超高層ビルと称される「あべのハルカス」。未来を発信する立体都市として、最先端の技術を集結し、省エネ性をはじめ、環境性、デザイン性などに配慮した次世代型の複合ビルです。百貨店、ホテル、オフィス、美術館、展望台と多彩な施設が設けられ、ダイキンは名所の一つである展望フロア「ハルカス300」の回廊部と、百貨店フロアの売場部分の空調を担当しました。「あべのハルカス」の目指す省エネ性と環境性に適し、また施工の自由度が高い「ビル用マルチ」と「ファンコイルユニット」を導入し、それぞれの空間において目的に合った快適な空調をお届けしています。



# 業界トップクラスの省エネ性に、多彩なビル形態に対応できる機種と施工性。 日本一の超高層ビルに相応しい、ハイクオリティな快適空調を実現しています。

業界トップクラスのAPFを達成し、優れた省エネ性と施工の自由性を持つ「ビル用マルチVe-up」と、省エネ性はもちろん、省工事・省コスト化も図れる「ファンコイルユニット」。展望台フロアと百貨店フロアそれぞれの設置条件、目的に適したカタチで快適な空間づくりを行っています。

## ■60F ハルカス300(展望台) / 天上回廊

空冷ヒートポンプパッケージエアコンである「ビル用マルチVe-up」を導入。地下の熱源から300m以上離れているため、搬送エネルギーを低減し、多様な負荷に応えられるタイプを採用。また、360度、足下から天井までガラスを配したフロア設計により、吹き出し口は天井にスリット方式で施し、視界を遮らないような工夫がされています。



## ■56F 室外機室

「ビル用マルチVe-up」の室外機は、地上270mあたりに位置する56Fの屋内スペースに設置。効率よく外気を取り込み、熱を逃せるように開口部の半分のみガラス窓が取り付けられています。さらに、室外機の上部から開口部へと専用ダクトを設け、室外機の熱を外へ排出。室外機散水「スカイエネカット」も導入し、冷却効果を高め、より省エネ運転を図っています。



**ビル用マルチVe-up**

## ■あべのハルカス近鉄本店

あべのハルカス近鉄本店の売場には、「ファンコイルユニット」を導入。省エネ性はもちろん、フロアの雰囲気を保ちつつ、きめ細かな空調が行えることをポイントに選ばれました。また、高性能な大温度差コイルの採用により、循環水量の軽減が図られ、設備の省工事化・小コスト化が行えるのも大きな特長のひとつです。



**ファンコイルユニット**



「最後に」 この度、日本一の超高層ビル「あべのハルカス」の大型プロジェクトに、空調という面に関わらせていただいたことを、大変ありがたく、名誉なことと感じております。事業主様をはじめ、施工会社様、またご支援いただいた方々に深く感謝いたします。今後とも、私たち、ダイキン工業も、これからの空調を目指し、さらなる開発と努力を続けてまいります。